

山形創造NPO支援ネットワーク

# 5周年記念誌



特定非営利活動法人  
山形創造NPO支援ネットワーク



黒沼貞志

山形県の「コミュニティビジネス起業家支援事業」の一環として「山形県緊急雇用特別基金事業費によるSOHO推進業務」（以下SOHO推進業務）と共に、コミュニティビジネス研究会・山形創造NPO支援ネットワークにて受託しコミュニティビジネス関係者・団体・機関の協力、参画により「コミュニティビジネス起業家育成支援事業」が次の様な内容にて実施された。なお、「SOHO推進業務」の詳細は省略いたします。

## 1. 推進体制の整備

本事業の推進のために戦略会議を設定し、研究会キーパーソン会議、進行管理担当、コーディネーターを設置して体制を作り、同時にSOHO推進業務も受託して一緒に推進体制として整備しました。事業の進捗は活動方針策定戦略会議、活動経過報告（マンスリーレポート）、情報収集、講演会、交流サロン、シンポジウムなどを実施しました。

## 2. スケジュールの設定

上記推進体制のもと、当事業推進のためのスケジュールを策定し進行管理のベースとしました。

## 3. CB起業家個別相談会の開催

県下4地域で実施したこの相談会には17件のCB起業家・団体からの引合いと参加があり、新しい接触が実現されました。その中では、CB関係者・団体の生の悩み（どこに相談したらよいかも分からないというレベルから具体的な課題、問題など）が提示され、個々にアドバイスを実施すると共にCB研究会の関連活動情報なども提供されました。

## 4. 個別マーケティング支援の実行

上記CB起業家個別相談会参加者・団体を含め県内のCB起業家を対象に、CB起業家支援モデル事業を目指し次のようなスケジュールに沿って個別マーケティング支援を推進しました。

\*上記個別相談会参加者・団体を含め県内のCB起業家を対象に公募を実施

\*応募団体の応募事業内容の検討（整理・分析）を実施し、必要な追加ヒアリングを実施

\*研究会内にての検討にて応募団体の予備選考案を起案し、戦略会議にて提案・報告し参加者の賛成のもとに次の支援3団体を決定

・(特)庄内市民活動センター：「花HANA宅配便」事業

・エヌ・ロジスティクス・サービス（NLS）：「在宅ワーカー活用による酒田市内郵便物の市民配達システム」

・やまがた育児サークルランド事務局：「育児サークルランド事業推進のための組織基盤固め」

\*支援3団体に対し6カ月間のマーケティング支援を実施

## 5. 成果（結果と課題・展望）

本事業の成果（結果と課題・展望）は次のようなポイントが指摘されました。

### (1) 全般（主に体制について）

・コミュニティビジネスも問題解決型、需要志向型の新ビジネスモデルを目指す必要が有り、その点からは次年度のコミュニティビジネス研究会の遂行体制にはこの視点からの改良（発展的改組：マネジメント・マインドを持った人材や組織のコンソーシアム）が望まれる。

・その結果として、マネジメント・マインドを持った人材や組織の育成が実現する。

・県内専門家リソースの活用が充分でなかった。そのためには既にスタートしているNPO法人山形専門家ネットワークや山形の地域共同研究センター等との連携も今後の課題・展望と考えられる。

\*NPO側の反省としては自立する方法を探る参加者がいなかった。

### (2) 個別相談会の開催について

個別相談会で見てきたCB起業家・団体の共通

課題をあげると

- \* 課題解決の方法の指導、アドバイス
- \* 組織経営の指導、アドバイス
- \* 販売促進、事業展開・拡大の指導、アドバイス
- \* 支援活動の整備（必要な支援や資金がどこにあるかわからない）  
などになります。

この相談会で把握したこれらCB事業展開上の共通課題や要望に対してはその後の関連事業展開（個別マーケティング支援・講演会・交流サロン・シンポジウムなど）を通じてのフォローアップを実施して対応したが、これらの参加者のチャンネル維持や拡大のためのサポート（施策）が今後の課題・展望と考えられる。

### (3) 個別マーケティング支援

6カ月の長期的、継続的本支援に対し「事業を始めて個々に発生する諸課題・問題に対して、系統立てて、且つ専門的視点から、そして時間を掛けての支援は相談会やセミナーなどでは解決できない部分で非常に有効であり事業展開構築への足掛かりとなった」などの感想が出された。

しかし、一方では、これでもまだ事業の更なる確実な展開のためには、もう少し長い期間の支援あるいは別の形でのフォローアップ支援の要望が出された。

これは今後の課題でもあり期待される展望と考えられる。

